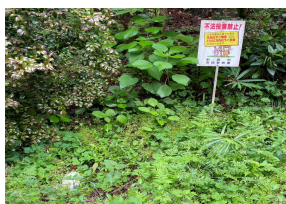




株式会社グリーンバイオマスファクトリー



都農町の木材を燃料として発電を行っており、ただの木材を使用するのではなく、建築用材として使用できない木材を使用することで、林業再生にもつなげている。グリーンバイオマスファクトリーで発電される電力は年間でおおよそ4000万Kwhにもなり、約10000世帯の電気量を賄うことができる。発電された電気は九州電力へと売電されており、都農町へと還元されていないことに驚いた。



不法投棄禁止と書いてある看板の横にペットボトルの容器が捨てられていた。歩いた範囲内でごみ箱が一つもなかったことも関係しているのではないかと思います。

木が倒れていた。木を撤去するのにもお金がかかるらしい。家屋の近くで土砂崩れが起きている箇所があり、土砂崩れ警戒区域に含まれている地域も見受けられた。



太陽光パネル



道の途中に多くの太陽光パネルが並んでいた。都農町の太陽光パネルは実装当時、世界一長い3.9kmの細長いソーラー発電所として有名だった。また発電所設置にリアモーターカーの実験施設として活用し鉄道技術分野にもかかわっていた

都農町地域資源マップ



れんげの会



私たちは自分たちの範囲の探索が終了したため、子ども食堂が行われていた公民館を訪れた。今回のような子ども食堂は「都農町れんげの会」が主催しており、毎月1回都農のどこの公民館で行われている。他にもかしを作る等の活動を行っているこの会に参加するにあたり高齢者の方々は、車を持つ若者に連れてきてもらったおっちゃんっており、地域全体でこの活動に参加しようという気持ちが伝わった。最初は宮大生が数多く訪れ、不満げな顔をする方が多かった。だが徐々ににぎやかになっていき、「こんなに人が多いのは珍しく、皆楽しそうでよかった」とれんげの会の方は語っていた。

まとめ

私たちは地域の人々にお話を伺いながら目的の範囲を歩き、こども食堂を訪れました。都農町には子どもからお年寄りまで元気な方が多く、その姿に私たちも癒されました。こども食堂を主催していた「れんげ会」のしげさんは、子供から高齢者まで「さびしい人をなくしたい」という思いで活動を続けていと語ってくださいました。年齢を重ねても、このような活動を通じて人と人とのつながりが生まれ、それが生きがいになっていることを強く感じました。また、お話を聞く中で、都農町には移住者に対する支援金制度など、住民に対するサポートが充実していることも知り、住みやすさの面でも大きな魅力がありました。なにより、都農の人々は本当に元気で優しく、私たちににとって「理想の地域」と思える場所でした。(池田) 今回の都農町実習で感じたことはとにかく地域住民に元気が明るく優しいということです。れんげの会代表のしげさんにインタビューをして、「一人暮らしの高齢者に限らず、子供達や世代の垣根を超えた関わりを通して寂しい人をなくしたい」という思いでれんげの会を主催したことや、実際に高齢の方をれんげの会で働かせることで一人の時間を減らす且つコミュニケーションを取ることが長生きに繋がっていると伺いました。その他にも地元の人達のお話で地域住民と協力して道路沿いの家に白いバラを植えたり、ナシの木からカカシを作ったと伺い地域内の関わりが強くとても魅力的な町だと感じました。また、都農町には他地域からの移住民が多いそうで、その理由としては医療費がからなかったり、引越し金を得られたりなどのサポートが充実していることが挙げられると思います。今回の実習で都農町はとても素敵なおとところだと感じたので、次回は限られた区域ではなく都農町全体の魅力を見つけないかと思いました。(信時) 実習範囲のエリアは緑が多く自然が豊かな土地であり、普段はあまり感じることでない広大な自然を身をもって体験する、とても貴重な体験をすることができました。一方で、高齢化や人口減少の影響からか、整備が行き届いていない場所も多くみられ、土砂崩れの危険性がある箇所、建物の老朽化や空き家が多いことなどの課題点も見つけることができました。耕作放棄地に対しての対策を進め、再び利用できるようにしたり、新たな利用方法を生み出していくことが、自然が豊かで広大な土地をもつ東都農エリアの地域活性化につながると思いました。(田中) れんげの会の活動は、単に対象が子どもや高齢者というくりに縛られることなく、一人暮らしの人や不登校の子どもたちをはじめとした「寂しい」と感じている幅広い年齢層の人々が集まり、楽しめるような空間を作ることが目的として取り組んでいるのだというお話を聞きました。そのような活動を通して、日々の楽しみができたたり前向きな気持ちになれたりするでしょうし、実際に会員の方々や地域住民の皆さんは、年齢を問わず明るく元気な印象を受けたので、コミュニティの強さは多くの点で良い影響を与えるのだらうと改めて感じました。(稲垣)



せいゆう

国道10号線を北上し、チキン南蛮で有名なおぐらのチェーンレストランつこの隣にある。駐車スペースにゆとりがあるため多くの地元の人が足を運んでおり、都農町産の野菜やお魚、植物の苗などが売ってある。歩いた範囲内で一番自動販売機があった！(4つ)



地域福祉バス

一人あたりの利用料金は200円で、小学生や障がい者手帳保持者は100円で利用できる。運転免許返納者は無料乗車券が交付される。主に高齢者施設や保育所に停車する。それぞれの路線は一日に一本ずつしか運行していないように思われるので、交通の面では少し不便であるように感じる。参考：
<https://www.town.tsuno.lg.jp/article?articleId=604ec335889ebd12ec684b26>

都農6班

田中大幹 池田光弥
信時遥香 稲垣悠那

